

「TURN フェス 5」プログラム一覧

展示&ワークショップ

- 岩田とも子 「意識の散歩」 手に入れたくしゃくしゃの地図の上
- 齋藤陽道 気配を捉えた写真
- 「未来言語」 新しいコミュニケーションを考える
- 「OTON GLASS/FabBiotope」 多様性を実現するものづくり
- 牧原依里と「東京ろう映画祭実行委員会」 ろう学生がつくる映画と表現
- 伊勢克也 交流する「桃三ふれあいの家」
- 飯塚貴士 みんなの喜怒哀楽に触れる映像制作
- 「アトリエ・エー」 ダウン症や自閉症の子供たちを中心とした絵の教室
- 池田晶紀 「働く」を写す《人+動/仕+事》
- 富塚絵美 「Boatt Room-盲ろう文化でぼーっとボアッと光を抱く部屋-」
- 出張 TURN LAND
(板橋区立小茂根福祉園、クラフト工房 La Mano、気まぐれ八百屋だんだん、ハーモニー)
- 森山開次が踊り、富田了平が撮影した交流の記録映像
- 東大生態調和農学機構の圃場で生まれた「ひまわり迷路」
- キューバの高齢者施設と小学校との交流「TURN in HAVANA」
- アルゼンチンの先住民とコミュニティとの交流「TURN in TUCUMAN, BIENALSUR」



TURN in HAVANA



TURN LAND (クラフト工房 La Mano)

ライブ&パフォーマンス

会場内のステージでは、4日間を通して多彩なパフォーマンスを展開します。初日のオープニングナイトには、パンクバンド「ラブ・エロ・ピース」、ヒューマンビートボックス「U:gene」、ラップクリエイター「マチーデフ」等が登場し、会場を盛り上げます。

トーク&レクチャー

常設のトークステージでは、TURN が関わる様々な領域やテーマにおける課題について語り合い、理解を深めます。アートプロジェクト、表現と排除の関係性、アクセシビリティ、きょうだいい児、介護や医療福祉の現場、場のつくり方など、多岐にわたるトピックのトークプログラムを、日本の障害者福祉における表現を研究する長津結一郎、TURN のプロジェクトデザイナーであるライラ・カセム等が構成してお届けします。

シアター&プレイルーム

- ろう者の“音楽”をテーマにしたアート・ドキュメンタリー「LISTEN リッスン」
- 自主夜間中学校と生き抜くための学びを映し出す「こんばんはⅡ」
- 指で触れあうことで世界とつながる「もうろうをいきる」
- 国籍も言語も異なる盲目の蠟燭職人とろう者の舞踏家によるロードムービー「TOTA」

ツアー&コミュニケーション

参加アーティストやナビゲーター等の案内役と共にフェスを巡るツアープログラムを多数実施します。ツアーを通じて、フェスのそれぞれの楽しみ方を発見することができます。

その他、多数のアーティストの参加と複数のプログラムの開催を予定しています。

※各プログラムのスケジュール等詳細は、公式ウェブサイト等から随時お知らせします。

※出演者やプログラム内容等は、予告なく変更になる場合がございます。

<「TURN フェス 5」開催当日の連絡先>

開催当日は TURN 運営本部までお問い合わせください。

TEL: 080-9081-0171 (8月16日9:30~21:00、8月17日・18日・20日9:30~17:30)